



## 『上仮宿六月灯で手作り灯ろう復活！』

8月7日(火)、旧暦の6月25日に上仮宿集落で「六月灯」が行なわれ、約10年振りに子ども会で手作り灯ろうを作成し、飾り付けをしました。

当日は、集落の人たち50人以上が集まり、焼きそばや、花火などを楽しみました。

子ども達が思い思いに描いた絵や文字は、ロウソクの灯りでほんのりと照らされ、幻想的な世界を創り出していました。参加者の中からは「今までは親だけの会になりつつあったが、子ども達が参加することによってにぎやかになり、こんなに子どもが集まったのも久しぶりだ」と喜びの声が聞かれました。

## 『久栄会がボランティア作業を実施』

夏真っ盛りの8月5日(日)、町内9か所の保育園や老人福祉施設で奉仕作業が実施されました。

今回で、26回目となる奉仕作業は、久徳建設とその協力業者で構成する「久栄会」が行っているもので、会員や社員の約100名が参加しました。

参加者は、炎天下の中、頭には麦わら帽子、手にはビーバーを持ち、汗だくになりながら慣れた手つきで作業をこなしていました。

うだるような暑さの中、みなさん本当にお疲れ様でした。



## 『大崎町・場外馬券発売所でナイトシアターが催されました』

8月26日(日)、大崎町野方にある場外馬券発売所で親子向けのナイトシアター(映画上映会)が催されました。

今回の企画は、野方小と立小野小のPTA主催によるもので、両校の児童と保護者の約80人が鑑賞しました。

野方小PTA会長の原口洋一さんは、「夏休み最後の催しとして施設の使用を打診したところ、快くお引き受けいただきました。この周辺では映画館がなく、

大型スクリーンを備えたこのような施設で、親子が親しめる企画が実現できれば、と考えていました。夏休みも終わりの時期なので、親子で楽しんでもらえれば」と話してくださいました。

また、場外馬券発売所の山崎所長は「4月にオープンし、地域の皆様のおかげでここまでくることができました。このように地域に密着したイベントが開催できたことを非常にうれしく思います。今後も夏休みの期間など、この施設を有効に活用してもらいたい。」と話していらっしゃいました。

